

岐阜県 商店街だより



第383号 2016.7.22 7月号

発行元

岐阜県商店街振興組合連合会

岐阜市藪田南5-14-53

TEL058-277-1107

多治見ながせ商店街振興組合

中小企業庁「はばたく商店街30選」に選定！

5月25日、中小企業庁は、地域の特性・ニーズを把握し創意工夫を凝らした取組により、地域コミュニティの担い手として商店街の活性化や地域の発展に貢献している商店街の取組事例を「はばたく商店街30選」として選定しました。

岐阜県から、多治見ながせ商店街振興組合が30選に選ばれました。選定の取組ポイントは、青年部やまちづくり会社との連携により、新たな店舗の誘致や陶磁器の産地ならではのオリジナルイベントを継続的に実施することで、まちの魅力が増加していることです。

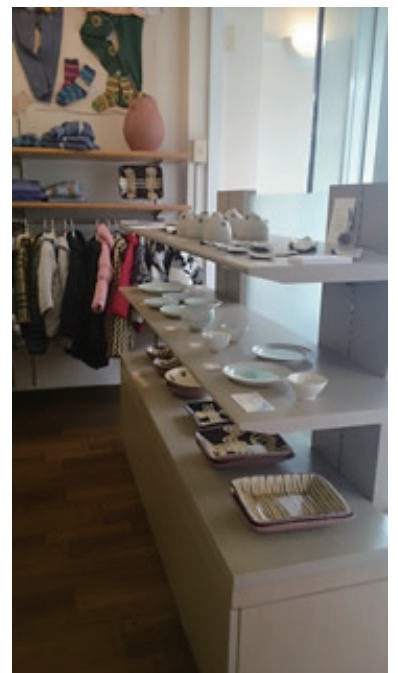
産地ならではのオリジナルイベントは、観光客が増加する10月の美濃焼祭に時期を合わせて行っている「商展街」です。商展街とは、組合員の参加店約20店舗がお店の一角を提供し、地元の若手陶芸作家の作品を展示するイベントで、一部は販売もしています。平成22年から5年間継続して開催してお



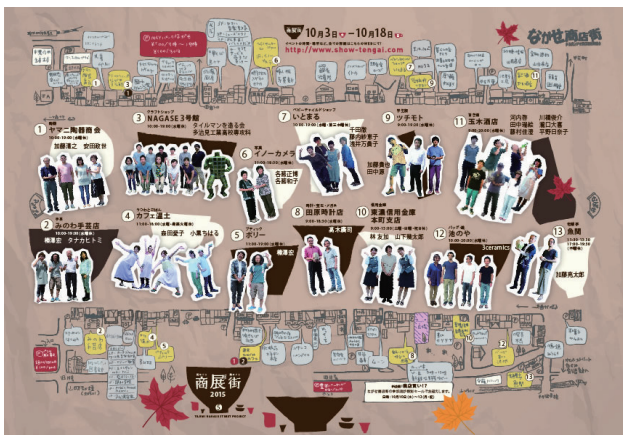
▲お店にディスプレイされた陶磁器作品▼

り、今年も開催する予定です。

最近の商展街は、参加型ワークショップなどに積極的に協力する店舗を中心に運営しています。商店街の参加店数を増やすのではなく、参加型・体験型のワークショップを充実させ、訪れた人を飽きさせないイベントを目指しています。陶磁器作品を受け入れる各店は、作家と共同で店内のレイアウトや展示ディスプレイを改善しているため、作家の感性が店舗の活性化に繋がっています。



作家とコラボして作成したDMも毎年配



▲商展街のMAP

布し、集客に努めています。このDMは、店舗と作家がそれぞれの顧客に配布し、店舗と作家の両者に新規顧客獲得の効果がでています。その他の集客活動は、Facebookと口コミです。

商店街青年部は、このような作家のまちづくり活動への参画をきっかけに、アートイベントなどへの興味を持った様々なアーティストや大学生などと、イベントを一緒に創り上げる工夫をしています。

作家が多く立ち寄る商店街として若者から注目されるようになったため、出店への関心が増しています。出店者を募集していた空き店舗は、多治見まちづくり株式会社の出店サポートにより、概ね新規出店が成功しました。空き店舗になっているが物件を貸し出すのに消極的なオーナーたちに、多治見まちづくり株式会社と連携して働きかけを続け、徐々に貸せない店舗を貸せる店舗に変えています。多治見ながせ商店街振興組合の玉木秀典理事長にお話を伺ったところ、「最近では飲食店を中心に出店希望者があるが、条件が合わず出店が実現しないことが多いです。」とのことでした。

多治見ながせ商店街の商展街以外のイベントは、長年続けている週2回の野菜等の朝市、クラフトフェア、夏まつり、クリスマスイベントです。玉木理事長にイベント回数を増やす計画があるか伺ったところ、「イベントの中心スタッフが義務的にやらなきゃいけなくなり、消極的になると人が集まらない、つまらないイベントになってしまいます。イベントの中心が積極的だと、渦を巻くように人が喜んで集まります。イベントを成功させるには適度な開催期間があるので、多治見ながせ商店街のイベントは、現状が丁度いいと考えています。」と話されました。

玉木酒店とカフェ温土(多治見まちづくり株式会社が運営)では、陶磁器を常時展示販売しています。カフェ温土では、陶芸教室が通年開催されており、年1回の商展街の取組みと通常期間の取組みがバランスよく実施されていました。

【参考となるポイント】

- 作家と商店街がコラボ
- まちづくり(株)と連携した空き店舗対策
- 適度なイベント開催期間

関

6/19(日)

魅力的なグルメを堪能 日本ど真ん中関ご当地グルメ大会

■主催：関商工会議所 ■共催：JAめぐみの・協同組合せき商連
関市本町通商店街連合会・岐阜県関刃物産業連合会・関飲食業組合

東日本大震災・熊本地震復興支援事業として、日本ど真ん中関ご当地グルメ大会が、6月19日(日)に小雨がぱらつく中、関市本町通商店街を交通規制で車両通行止めにして開催されました。ご当地グルメ出店が29店、他県の物産品販売が5店、刃物廉売市出店が4店、新鮮野菜の軽トラ市、イベントステージがありました。

ご当地グルメ出店は関市から22店、岐阜県内から5店、富山県から2店の出店となっており、地元と近隣市が中心になっていまし

た。ご当地グルメ出店は各店が1品を千円以下で販売。どの出店者も一工夫ある1品を販売し、集まった人たちを楽しませていました。魅力的な29品のグルメは、どれもおいしそうで、お腹に収まり切らないので来月も開催して欲しいと思う程でした。集客と販売は悪天候にも関わらず好調な様子で、13時には売切れの店舗が現れ、閉会の15時には半数程度の店舗が売切れになっていました。関からあげ学会の黒からあげは、ひじきと関の特産品しいたけで黒くなった唐揚げで、ど

んな味な
んだらう
と通りが
かった人
たちを引
き付け、
行列が絶
えません
でした。

新鮮野菜の軽トラ朝市は、トウモロコシが即



▲新鮮野菜の軽トラ市

完売！商店街の既存店は、当日限定メニューを追加し、大会を盛り上げていました。

イベントステージは、楽器が中心の賑やかなステージでした。

刃物販売市の出店者にお話を伺うと、「メイン出店ではないので販売量は今一つでしたが、デザインや機能に特徴のある商品が売



▲既存店も当日限定メニューを追加

れました。」と話されました。

関市本町通商店街連合会の深川会長にお話を伺うと、「農協などいろいろな人たちのご協力のお蔭で、出店者が早く集まって頂きました。地元食材の地産地消と1店1品の手頃な価格という、どこでもやっている基本的な取り組みですが、集客・販売ともに好調です。東北の震災からチャリティを始めました。今年のチャリティバザーの売上げは、熊本と東北に送ります。日頃の商店街は、飲食店では好調なところもありますが、後継者問題などで店舗数の減少が課題です。」と話していました。

関商工会議所前では、はもけん(刃物検定)のコーナーが設けられ、子供たちが挑戦していました。刃物と地元グルメでまちおこしというイベントが上手く実施されていました。



▲はもけん(刃物検定)

【参考となるポイント】

- 地元からの多数出店
- 一工夫のグルメ
- 特徴のある商品

羽島

7/1(金)

子供たちが大はしゃぎ
代々まつり

■主催：商店街振興組合羽島市商店街連盟

羽島市竹鼻地区の氏神とされる八剣神社の禊神事が6月30日に行われ、この神事の翌日の7月1日(金)17時から、青山スクエ

アで商店街の夏祭り「代々まつり」が開催されました。

美濃竹鼻では7月1日と15日に家の前



▲お楽しみのガラガラ抽選会

に竹を建て、12個の提灯を飾り、みそぎ団子を食し、夜には提灯に灯りを入れて夏の一夜を過ごすという風習が残っています。

会場では、無料綿あめ、軽食、みそぎ団子、射的、金魚すくいの出店とガラガラ抽選会が行われ、約500人が集まってイベントを楽しんでいました。

18時になると、浴衣や甚平を着た子供たちが、待ちに待ったガラガラを、ドキドキワクワクしながら回し、カラーの当たり玉に大喜びしたり残念がったりしていました。ガラガラ抽選会は、浴衣着用の小学生限定・先着200名で、1等賞は大玉スイカ10本、2等賞はみそぎ団子30本、3等賞は菓子詰め合わせか両手で米すくい各80本でした。両手で米すくいは、サイコロを投げて出た目の数だけ両手でお米をすくえる2重抽選なので、3等賞ながらも楽しめる仕掛けとなっていました。ガラガラ抽選の開始は



▲金魚すくいに熱中



▲大人気の射的

18時からでしたが、1番乗りは17時前から並び、あっという間に大行列ができました。

子供たちに何が楽しみで来ましたか？と問い掛けると、ガラガラ抽選会が1番人気で、2番目は綿あめでした。

来場者は、小学生とその母親が大多数でした。どの出店も行列ができる賑わいでしたが、特に人気があったのは射的で、人だかりのなかでひしめき合いながら標的を狙い打つ子供たちでいっぱいでした。金魚すくいも人気を集めていて、子供ながらも狩猟本能が働くのか、真剣に金魚をすくっていました。

イベントは夕方からでしたが、当日は晴天だったため気温が高く、会場の青山スクエアの水場やかき氷の出店も、涼を求める人たちでいっぱいでした。

きれいに飾られた伝統の提灯を背景に、ほのぼのとしたゲームや夜店が、子供たちのいい思い出になりそうでした。

《参考となるポイント》

- 親子を呼び集めるイベント。
- 伝統行事が、子供達の思い出。
- 単純で楽しめる出店。

【取材・記事 中小企業診断士 上村真太郎】



(株)全国商店街支援センター 平成28年度支援メニュー

トータルプラン作成支援事業

1. 目的

商店街が活性化を図る上で、商店街の取り巻く環境や対象者を理解し、問題解決に向けて、商店街のもつ限られた資源(人材や資金等)を効率良く活用することは重要です。

そこで、既存の事業や活動の見直し、地域での方向性の確認、取り組まなければならない課題がある場合の解決策の策定等、本事業を通じて行動に繋げていく意思のある商店街に対して、組合員の参加型によるワークショップを通じて合意形成するプロセスを体験・習得し、ビジョン及びプランの作成の支援を行い、実行に向けた後押しを行うことを目的とします。

2. 概要

支援センターと密接に連携した幅広い知識を持った専門家(以下「支援パートナー」という。)を派遣し、支援センターの作成したテキストを用いてビジョン・プランを完成させます。

商店街活性化の実践者(以下「実践サポーター」という。)による講演を希望し、かつ支援センターが必要と判断した場合オプションとして実施します。

＜支援基本イメージ＞

(1) ビジョン作成研修(3回)

- 商店街の現状確認
- 課題等の列挙
- ありたい姿の言語化
- 実践サポーターの講演(※オプション)
- 課題の選定

(2) プラン作成研修(3回)

- 選択した課題を基にした現状分析
- 課題解決策の列挙
- 事業コンセプト構築
- 取組みの優先順位づけ

● 取組みの分類

商店街の活性化に寄与するもの、現在抱えている課題を整理し、ありたい姿(ビジョン)を支援パートナー進行の下、ワークショップ形式で参加者が主体的に検討し合い作成していきます。

※実践サポーター講演(オプション)

実践サポーターの講演を希望する商店街は、研修3回目に講演を実施いたします。ただし、サポーター派遣の可否や派遣するサポーターについては、商店街の課題や研修の状況等を踏まえ、支援センターが決定いたします。

(2) プラン作成研修

選択した課題の解決のため、テーマに則した現状分析を行い、具体的な取組みを検討・抽出していきます。コンセプトに沿って抽出された取組みは実現可能性の程度(すぐに取り込めるもの、条件付きで取り組めるもの、しばらく取り組めないもの)に合わせて分類し、具体策をまとめていきます。

まちゼミ研修事業

1. 事業概要

「まちゼミ」は、商店街の各個店がその専門性を活かし、プロならではの専門的な知識や情報、コツを無料で受講者(お客様)にお伝えする講座です。本事業では、この「まちゼミ」のノウハウを学びます。「入門コース」「実践コース」「リプランコース」「ジャンプアップコース」の4コースを実施します。

2. 事業内容

● 入門コース(全2回)

まちゼミ研修を初めて受講する商店街が対象。

1回目：全体研修、2回目：全体研修。

● 実践コース(全3回)

まちゼミ研修事業入門コース、またはそれに準じる入門研修を受講済みで、「まちゼミ」実施へ向けた事務局体制が整っている商店街が対象。

1回目：全体研修、2回目：ワークショップ、3回目：ワークショップ。

※(株)商店街支援センター以外でまちゼミ入門コースに準じる研修を受講済みの場合、その熟度等が確認可能な報告書や受講者名簿を提出できること。

●リプランコース(全2回)

まちゼミを実施済みであり、商店街の建設的な方向性を検討する成果共有会を行う予定である商店街が対象。

1回目：成果共有会、2回目：ワークショッ

プ。

●ジャンプアップコース(全4回)

まちゼミを実施済みであり、まちゼミの自主運営に向けて検討中であるほか、商店街全体のステップアップを目指している商店街が対象。

1回目：全体研修、2回目：公開臨店研修・全体研修、3回目：公開臨店研修・全体研修、4回目：全体研修。

※現在、入門コース、実践コースの募集は終了しております。

詳しくは、(株)全国商店街支援センターのホームページをご覧ください。

(<http://www.syoutengai-shien.com/>)

■講習会のお知らせ■

商店街振興組合羽島市商店街連盟

日 時：平成28年8月19日(金) 12:00～14:00

場 所：羽島商工会議所 (羽島市竹鼻町2635)

テーマ：「まちのシンボルとなる景観形成と活用」

講 師：株式会社道家経営・法務事務所 代表取締役 道家睦明氏
土岐市商店街連合会

日 時：平成28年8月29日(月) 14:00～16:00

場 所：はいつて小屋 (土岐市泉町久尻2-6)

テーマ：「お店の特徴を活かした販売戦略」

講 師：コンサルティングオフィス アット・ドリーム 代表 浅井良隆氏

★事務局(ゆ)のヒトリゴト★

皆さん、こんにちは！梅雨でジメジメした日もあれば、30度を超える暑い日もあり、体調管理が難しい季節ですが、いかがお過ごしでしょうか？我が家では、暑さに耐えきれず、最近エアコンを使い始めました。

先日、柳ヶ瀬で開催されている「SUNDAY BUILDING MARKET」に行ってきました。当日は、雨が降ったり止んだりのお天気でしたが、たくさんの方で賑わっていました。

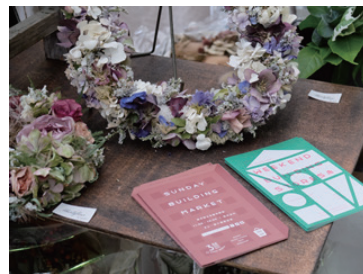
手作りのオシャレなアクセサリーや可愛い小物、美味しそうなお菓子や飲み物など、たくさん販売されていました。

私は、取り皿に丁度良さそうな、小さめの和っぽいお皿を購入しました。

わらびもちなどで大人気のツバメヤさんは、この日も行列していましたが、久しぶりに食べたい！と思い、並んで購入しました。

早速お家に帰って、購入したお皿にわらびもちを盛り付けて、美味しくいただきました！

ダイエットが必要な事務局(ゆ)でした。



岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。